

研究承認番号：2023-08
研究課題名： 人工膝関節置換術後患者に対する膝伸展筋力回復過程の調査
研究期間： 倫理審査承認日～2026 年 3 月 31 日
対象となる方： 鈴鹿回生病院で人工膝関節全置換術を施行した患者様
鈴鹿回生病院及び鈴鹿回生病院附属クリニックでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ等の窓口」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。 [研究の目的・意義] 日本では変形性膝関節症を発症される方が多く、年々増加傾向にあります。その治療の一つである人工関節全置換術（TKA）は当院でも多くの方が施行されています。TKA をされる方には術前から術後 1 年まで膝関節を伸ばす筋力（膝関節伸展筋力）や膝関節の可動域、片足立ち保持時間などの検査や、痛みや生活に対するアンケートをさせていただいています。その検査の中でも特に膝関節伸展筋力は、術後に著明に低下し、さらに歩行や段差昇降などの日常生活動作に密接な関係がある筋力であるため、リハビリテーションにて膝関節伸展筋力の評価を頻回に行い、トレーニングを行っております。膝伸展筋力が術前以上に回復するのに、1 ヶ月程度で回復する方もいますが、1 年経過しても回復しない方もいらっしゃいます。なぜそのように回復に差が出るかはわかっていないため、短期（術後 1 ヶ月）と長期（1 年後）にて術前以上の筋力が回復している患者様はどのような要因があるかを調べることで、リハビリテーションでどのような治療や検査が必要かを明確にすることができると考えられます。よって、この研究では当院で TKA を受けられた患者様の膝伸展筋力が術前以上の筋力まで回復する要因を調査することを目的としています。 [研究の方法] 当院で人工膝関節全置換術を受けられた患者様の診療録より調査データ(性別、年齢、体重、身長、既往歴、併存症、画像所見、問診票、診断名、膝関節伸展筋力、膝関節可動域等)を使用します。 既存のデータを使用するため、何らかの負担が生じることはありません。またデータを使用させていただいた患者様への謝礼等もありません。研究資金については、営利団体等との利益相反はありません。 [個人情報の取扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など患者様を直接同定できる個人情報は削除します。なお、本研究は鈴鹿医療科学大学大学院の研究協力を受けていますが、データを提供する際は、個人の識別ができないよう措置を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人が特定できる情報は利用しません。お名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることはありませんのでご安心ください。保管期間を過ぎたデータは適切な方法で破棄します。 問い合わせ等の窓口 研究責任者 鈴鹿回生病院 リハビリテーション課 牧野夢大 TEL：059－375－1212 FAX：059－375－1717